平成26年度第1回岡山県介護保険制度推進委員会議事要旨

- ◎ 開催日時 平成26年8月11日(月)10:30~12:00
- ◎ 開催場所 サン・ピーチOKAYAMA「ピーチホール」
- ◎ 出席委員 16人出席(うち3人代理出席)
- 1 開 会
- 2 あいさつ (房野保健福祉政策企画監)
- 3 議事(進行:小池会長)
- (1)第6期介護保険事業(支援)計画の策定について (説明:長寿社会課)

【委員の意見等】

○委員

資料1の5ページで医療計画との整合性を図ることになっているが、現在の医療計画 とは別に策定するということか。

○事務局

医療推進課で平成27年度から地域医療ビジョンを策定する予定であり、これと連携を図ることになる。

○委員

2025年に向けた人材推計は、これから行うのか。人材確保のための施策は、これまでと大幅に変わるのか。介護人材については、現在でも既に不足している。養成校が増えても、学生が増えないし、少子化でこれからも期待できない。県の方針について教えて欲しい。

○事務局

確かに現状は厳しいことから、早めに将来を見据えて検討していこうとしているところである。人材確保のための対策は、現状と大きく変わるわけではないが、厳しい現状を踏まえて、真剣に考えていきたい。

○会長

ソフトで推計はできても、実際の人材確保は簡単ではない。外国人労働者、介護ロボット開発等も含めた総合的な対策が必要である。介護需要に必要な人材の確保は難しい。

○委員

要望であるが、これから市町村計画と歩調を合わせて県計画を策定していくことになるが、他の都道府県にもあるようなありきたりの計画とするのではなく、県の来年度以降の施策とリンクした計画となるようお願いしたい。例えば、特養の待機者減少にどう取り組むのかなど、現在の課題に対する県の施策を盛り込んだ計画として、策定してほ

しい。

○会長

非常に大切な点を指摘していただいた。計画を策定するだけでなく、計画に基づいて、 市町村が高齢者を地域の中で支える仕組みづくりにいかに取り組むかが、大切になって くる。

(2) 介護保険制度の施行状況等について

(説明:長寿社会課)

【委員の意見等】

○会長

岡山市、倉敷市以外に新見市が事業者を指定しているのはどういうことか。

○事務局

新見市の要望により知事の権限を移譲している。

○委員

資料1の4ページの市町村第6期計画のポイントには、④に「認知症施策の推進」が記載されているが、5ページの都道府県計画のポイントには記載がないので、都道府県計画のポイントでも記載してほしい。

参考資料の4ページにある日常生活自立度Ⅱ以上である認知症高齢者数の推計が2010年で280万人であるが、2013年では462万人と報道されている。認知症の人と家族の会では、日常生活自立度Ⅲ以上と判断された者は、要介護1以上とするよう、要介護度の認定システムを改正するよう厚労省へ要望した。

参考資料10ページの認知症初期集中支援チームについて、昨年度、全国14か所で モデル事業として設置された。今後、全ての市町村で設置することになっているが、小 規模な市町村では対応が困難であるので、県で支援してほしい。

若年性認知症の者が増えており、専用のデイサービス等の居場所づくりも県で考えてほしい。岡山市では、既に動きがあるようなので、県でもフォローしてほしい。

○事務局

資料1は国の資料の流用であり、5ページに「認知症」の記載はないが、7ページの「都道府県介護保険事業支援計画の作成に関する事項」にはあるので、県計画には記載する予定である。

参考資料4ページの数字の取扱いについては、お話を踏まえて、留意してまいりたい。 初期集中支援チーム、若年性認知症の居場所づくりについてであるが、県では市町村 連絡会を定期的に開催し、情報交換や情報提供等の支援を行っているところであり、要 望を踏まえて県としてもしっかり対応していきたい。

○委員

苦情対応について、市町村へ移行する地域支援事業も、国保連で対応すべきものにな

るのか。今のままでは、国保連では受けられないと思うのだが。

○事務局

国において、国保連で対応してもらう方向で検討されている。

○委員

資料1の9ページの第6期計画の主な内容の都道府県計画中に、「各年度の老人福祉圏域ごとの必要入所(利用)定員総数の設定」とあるが、サ高住、有料老人ホームが増える中、実際の特養の待機者がどのくらいなのかが、問題になってくる。特養の待機者の中には、複数の施設に申し込んでいる者もいる。施策を行う上でも、現実、どれだけ足りないのか、実数を把握する必要がある。

○委員

特養のベッド数であるが、人材不足でベッドを稼働できない話も聞いており、単にベッド数を増やすのではなく、人材確保のための施策についてもお願いしたい。

○会長

特養などの外国人労働者の実態や特養待機者の実数の把握は難しいと思うが、検討していただきたい。

4 閉会